

# TOPICS ① 交通安全教育指導員の情報共有とレベルアップの場を提供

## ●東海・近畿・中国・四国地区交通安全教育指導員研修会

ホンダでは、地域の指導者の情報共有やレベルアップを目的に各地で研修会や情報交換会を開催している。1月24、25日の両日、三重県鈴鹿市内のホテルで「東海・近畿・中国・四国地区交通安全教育指導員研修会」(主催・本田技研工業(株)安全運転普及本部鈴鹿普及ブロック)が行われた。同

研修会には東海・近畿・中国・四国の6県で活動している交通安全教育指導員等38名が参加。相互に、幼児や高齢者への交通安全指導を演説し(写真参照)、意見交換を行った。今回が2回目の参加となる愛媛県新居浜市の交通安全教育指導員は、昨年の研修会で他の地区が紹介した内容を参考にした高

齢歩行者向けの寸劇を発表。研修会に初めて参加した高知県の指導員は「私たちは一人で活動することが多いので自己流になりがちです。今回、たくさんの仲間と触れ合うことで、そうした部分を改善していく必要があると実感しました」と感想を話す。  
2日目は研修会終了後、地域の



愛媛県新居浜市の交通安全教育指導員による高齢歩行者向けの寸劇



三重県津市の交通教育プロバイダは小学生に自転車用ヘルメットの役割を説明する時の実験を披露。生卵をヘルメットの中に固定すれば、地面に衝突しても割れないことを示し、ヘルメット着用とあごひもをきちんと締めることの必要性を伝える



岡山西交通安全協会のシルバーセーフティサポーターによる高齢者への自転車の安全な乗り方の指導



交通安全指導員の情報交換会

交通安全関連団体や警察の方々、ホンダの関連企業のホンダパートナーシップインストラクターが加わり、「2012年東海・近畿・中国・四国地区交通安全普及活動報告会」が開催された。来賓を代表して三重県警察本部交通安全課の保田秀樹課長補佐が「交通事故を減らしていくためには、地域の指導者の皆さんの力が必要です。こうした機会に他県の指導方法を学んで、それぞれの地域での指導に役立ててほしい」と総評を述べた。



「2012年東海・近畿・中国・四国地区交通安全普及活動報告会」には地域の交通安全関連団体や警察の方々など98名が参加



2月8日には、静岡県浜松市内のホテルで「東海・北陸・四国地区平成24年度交通安全指導員情報交換会」(主催・本田技研工業(株)安全運転普及本部浜松普及ブロック)が開催された。同交換会には東海・北陸・四国の7県で活動している交通安全指導員20名が参加。各地区で活動している交通安全教室の実演や活動内容を報告し合うなど、活発な意見交換が行われた。

交換会終了後、地域の交通安全関連団体や警察の方々、さつき会のホンダパートナーシップインストラクターが加わり、「平成24年度東海・北陸・四国地区交通安全普及活動報告会」が開催された。最後に、来賓を代表して静岡県警察本部交通安全課の武村典課長が「各企業の協力をいただきながら、今後も交通安全訴求活動を邁進していきたい」と締めくくった。  
※さつき会は、ホンダの関連企業からなる組織



交通安全指導員の情報交換会とともに、さつき会のHondaパートナーシップインストラクターの研修会も開催された

## 2

## ●鈴鹿地区親子交通安全教室 開催に合わせて、近隣の小学生が交通安全のポスターを制作

3月17日、三重県鈴鹿市にある(株)ケーヒン鈴鹿工場が主催する「鈴鹿地区親子交通安全教室」(共催・七日会)が開催された。この親子交通安全教室は、親子で交通安全の怖さを体験し、安全意識を高め、事故に遭わないための行動に気づいていただくことを目的としている。鈴鹿地区では4回目の開催となり、この日は鈴鹿市や亀山市などから親子188名が参加した。参加者は4つのグループに分かれて、様々なプログラムを体験した(写真参照)。



国府小学校の児童が制作した交通安全啓蒙ポスター26作品が会場内に展示された



受賞者代表の東方つぐみさんへ、Hondaパートナーシップインストラクターの前田さんから記念品が授与された

今回は開催に合わせ、近隣にある鈴鹿市立国府小学校の児童が交通安全啓蒙ポスターを制作。その中から優秀作品が会場内に展示された。来賓として参加した国府小学校の杉谷直俊校長は「自分の命を自分で守るために交通安全が重要であることを、子どもたちに再確認してもらおうと、ポスターの制作を行いました」と、そのねらいを話す。「このような充実した交通安全教室は学校単独では難しいので、参加した親子にと

って貴重な体験になったはずですよ。閉会式ではポスターの優秀6作品を発表。代表で国府小学校5年生の東方つぐみさんに記念品が授与された。東方さんは「テレビで飛び出しによる交通事故のニュースを見て、道路への飛び出しの防止を訴えようと考えました。受賞できて、とてもうれしい」と感想を語ってくれた。

ホンダパートナーシップインストラクターとして親子交通安全教室で指導を担当した(株)ケーヒン鈴鹿工場生産本部製造課技術係係長の前田望さんは「ポスターの展示や表彰は初めての取り組みです。小学校に協力いただくことで、地域との連携をさらに深めることができたと思います」と今回の成果を述べた。

今回の親子交通安全教室は真の意味で地域一体となった新たな取り組みと言える。



主催者を代表して開会式で挨拶を行う(株)ケーヒン鈴鹿工場生産本部工場長の菅野秀明さん



鈴鹿市交通安全指導員は道路を横断する際の安全確認の重要性などを説明



自転車の安全な乗り方教室では、子どもたちに「止まれ」の標識のある交差点での一時停止や安全確認について指導



トラックの内輪差による巻き込み事故の再現